

## 2011年春(3月～5月)の東北地方の天候

- 寡照
- 低温

### (1) 2011年春(3月～5月)の天候

この期間、寒気を伴った低気圧や前線が短い周期で通過することが多く、東北地方は曇りや雨または雪の日が多くなった。このため、東北地方の3か月間日照時間は少なくなり、東北北部では1946年以降の春として3か月間日照時間の少ない方からの3位の値を記録した。また、3月、4月中旬、5月上旬など、北からの寒気が流れ込み気温が平年を大幅に下回った時期があったため、東北地方の3か月平均気温は低くなかった。

3か月平均気温は東北日本海側でかなり低く、東北太平洋側で低い。3か月間降水量は東北日本海側で多く、東北太平洋側で平年並。3か月間日照時間は東北北部でかなり少なく、東北南部で少ない。

**3月**：この期間、高気圧と低気圧が交互に通過した。低気圧の通過後は強い寒気が南下し、月を通してみると冬型の気圧配置となる日が多くなった。東北日本海側では曇りや雪または雨の日が多く、たびたび大雪となつた。酒田では降雪の深さの月合計が76cmとなり、1953年の統計開始以来1位の記録となった。東北太平洋側では天気が周期的に変わつた。高気圧が日本の南海上を通り暖気におおわられた時期と、寒気におおわられた時期があり、東北地方では気温の変動が大きかつた。

月平均気温は東北地方でかなり低い。月降水量は東北日本海側で平年並、東北太平洋側でかなり少ない。月間日照時間は東北日本海側で少なく、東北太平洋側で平年並。降雪の深さの月合計平年比は東北日本海側で160%とかなり多く、東北太平洋側で71%と平年並。

**4月**：月の前半は高気圧におおわれて晴れの日が多くなつた。月の後半は上空に寒気を伴つた低気圧や気圧の谷の影響で、東北北部では曇りや雨の日が多くなつたが、東北南部では天気は数日の周期で変わつた。東北北部は低気圧や気圧の谷の影響を受けやすかつたため、降水量が多く日照時間が少なかつた。上旬前半と中旬終わりは強い寒気が南下し低温となつた。また、月の後半は低気圧の影響で各地で大雨となつた日があつた。

月平均気温は東北地方で低い。月降水量は東北北部で多く、東北南部で平年並。月間日照時間は東北北部で少なく、東北南部で平年並。

**5月**：この期間、低気圧や前線の影響で曇りや雨の日が多くなつた。上旬は日本海を進んだ低気圧の影響を受けることが多かつた東北日本海側を中心に大雨となつた日があり、月の終わりは台風第2号から変わつた低気圧の影響で東北太平洋側を中心に大雨となつた日があつた。なお、新庄では月降水量が206.5mmとなり、1958年の統計開始以来1位の記録となった。

月平均気温は東北日本海側で低く、東北太平洋側で平年並。月降水量は東北地方で多い。月間日照時間は東北地方で少ない。

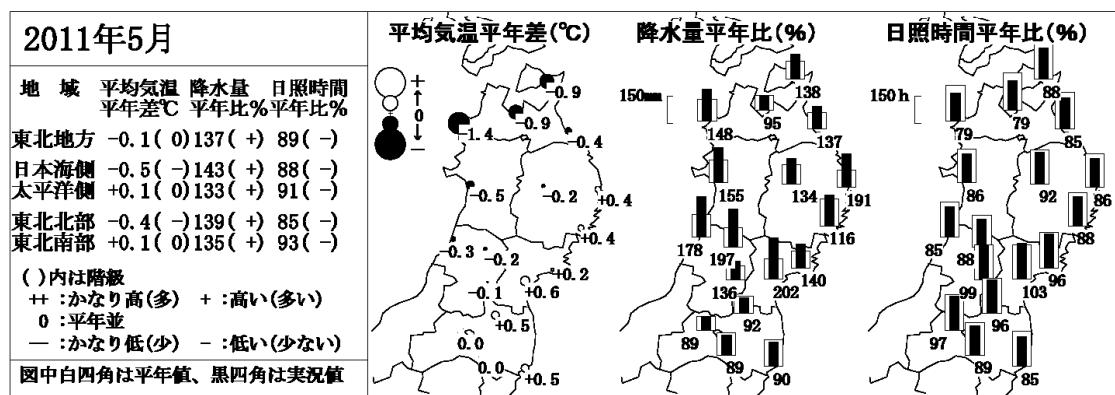
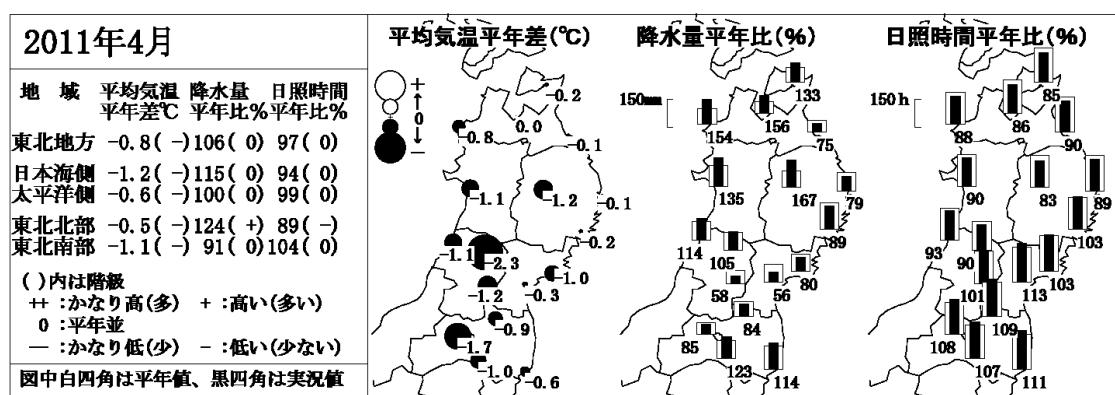
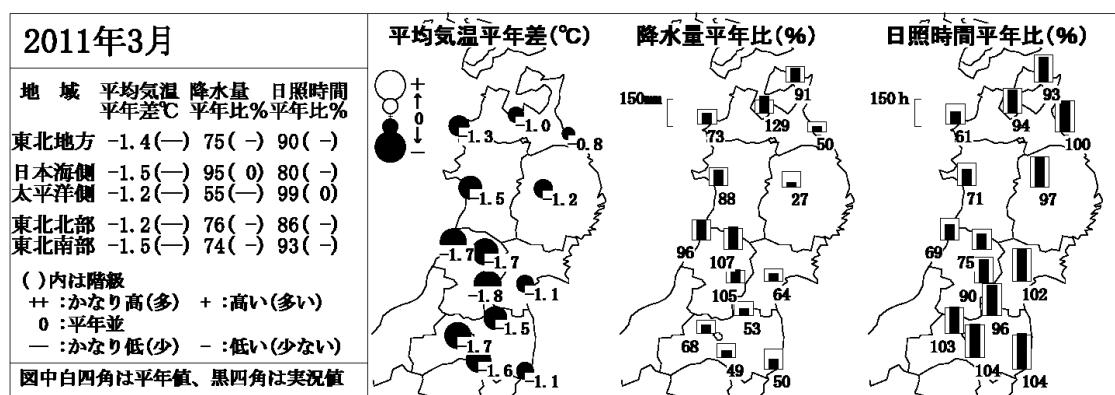
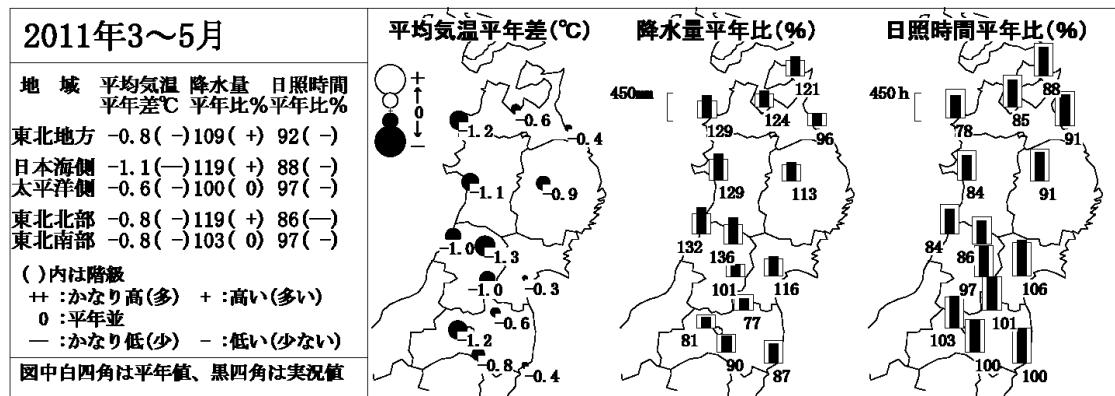
(注) 気候統計値は、東北地方にある17地点の気象台、特別地域気象観測所の観測値より求めています(速報値)。

細分地域については2ページ目脚注を参照して下さい。

平年値の統計期間は1981～2010年です。階級区分については、3ページ目脚注2を参照して下さい。

本件に関する問い合わせ：仙台管区気象台技術部気候・調査課統計係（電話：022-297-8110）

(2) 2011年春(3月～5月)の季節・月平均(合計)値の平年差(比)



平年値の統計期間は1981～2010年。

(注) 細分地域

東北日本海側：青森県津軽、秋田県、山形県、福島県会津

東北太平洋側：青森県下北・三八上北地方、岩手県、宮城県、福島県中通り・浜通り地方

東北北部：青森県、秋田県、岩手県

東北南部：宮城県、山形県、福島県

### (3) 2011年春（3月～5月）の気候表

地 点 名	平均気温(平年差)		階級	降水量(平年比)		階級	降水日数		日照時間(平年比)		階級
	(°C)	(°C)		(mm)	(%)		≥1mm	(h)	(%)		
青 森	7.4	( -0.6)	-	266.0	(124)	+	49	438.4	( 85)	-*	
深 浦	7.0	( -1.2)	-*	363.5	(129)	+	39	369.5	( 78)	-*	
む つ	9.2]	( )		317.5	(121)	+	45	467.6	( 88)	-	
	(統計月数: 2)										
八 戸	7.7	( -0.4)	-	196.5	( 96)	○	28	504.3	( 91)	-	
秋 田	8.2	( -1.1)	-*	427.0	(129)	+*	46	398.7	( 84)	-*	
盛 岡	7.4	( -0.9)	-	305.5	(113)	+	35	471.2	( 91)	-	
大 船 渡	11.6]	( )		298.0]	( )		21]	398.9]	( )		
	(統計月数: 2)			(統計月数: 2)		(統計月数: 2)		(統計月数: 2)			
宮 古	11.0]	( )		258.5]	( )		19]	390.9]	( )		
	(統計月数: 2)			(統計月数: 2)		(統計月数: 2)		(統計月数: 2)			
仙 台	9.8	( -0.3)	○	321.0	(116)	+	26	583.3	( 106)	+	
石 卷	11.3]	( )		227.0]	( )		25]	517.1]	( )		
	(統計月数: 2)			(統計月数: 2)		(統計月数: 2)		(統計月数: 2)			
山 形	8.7	( -1.0)	-	214.0	(101)	○	31	495.1	( 97)	○	
新 庄	7.0	( -1.3)	-*	432.5	(136)	+*	50	374.9	( 86)	-	
酒 田	9.0	( -1.0)	-	435.5	(132)	+*	45	403.4	( 84)	-*	
福 島	10.5	( -0.6)	-	193.0	( 77)	-	22	550.9	( 101)	○	
若 松	8.5	( -1.2)	-*	175.0	( 81)	-	31	517.6	( 103)	○	
白 河	8.8	( -0.8)	-	265.0	( 90)	○	30	537.3	( 100)	○	
小 名 浜	10.6	( -0.4)	-	324.5	( 87)	○	27	563.2	( 100)	○	

(注) 1. 平年値は1981~2010年の資料から求めた。

2. 「階級」の記号の意味は以下のとおり。

+:高い（多い） ○:平年並 -:低い（少ない）

各階級の区分値は、1981～2010年における30年間の観測値をもとに、これらが等しい割合で各階級に振り分けられる（各階級が10個ずつになる）ように決めた。

また、値が 1981~2010 年の観測値の上位または下位 10%に相当する場合には階級の「+」に \* を付加した。この場合には

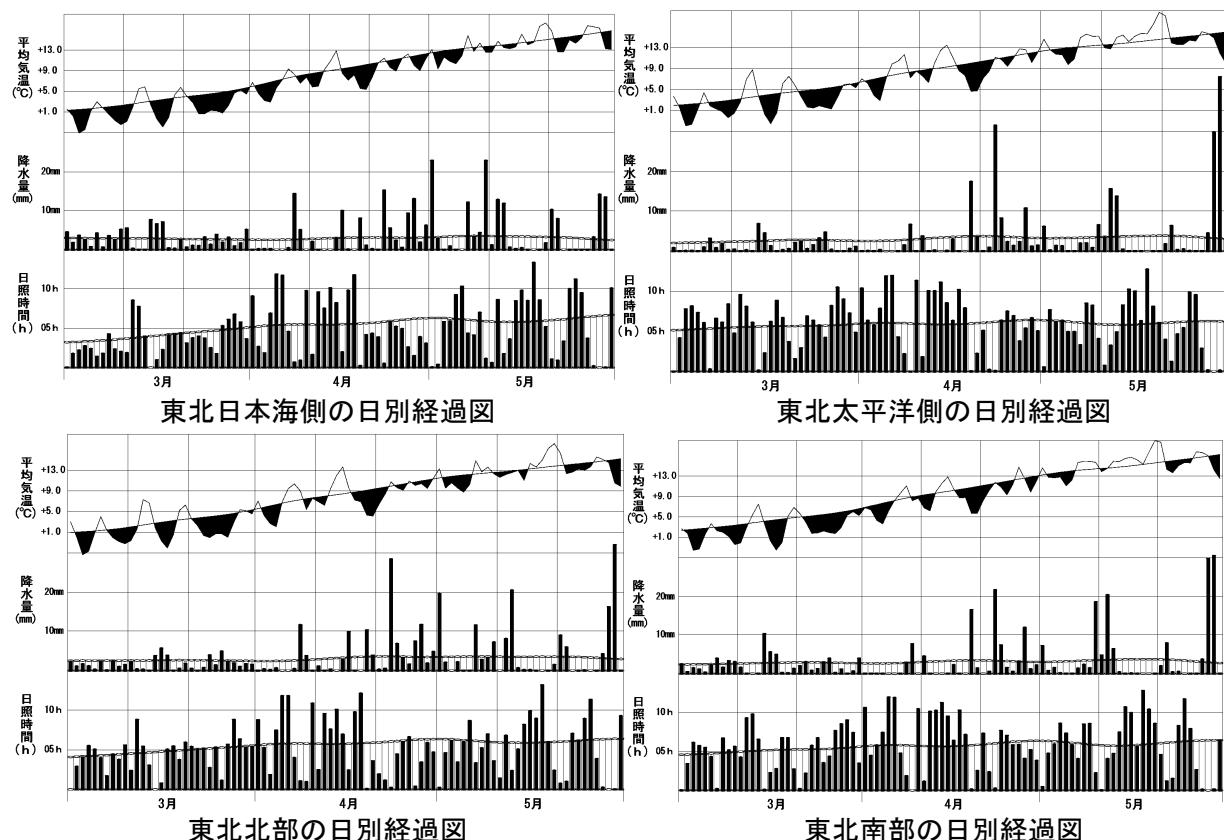
と表現できる。

また、「降雪の深さ」と「最深積雪」の「階級」は平年値が「1cm」以上の場合のみ表示した。

3. 値の横に ) や ] がある場合には、3か月別値を求める際に使用したデータ（月別値）に欠測等が含まれていることを示す。)付きの値（準正常値）は通常のものと同様に扱うことができるが、]付きの値（資料不足値）については、値の下に記載した統計月数（統計に用いた、品質が十分な月別値の数）を参考にして、品質を確かめてから使用されたい。

なお、月別値がすべて欠測のため値が求められない場合は「×」とした。

#### (4) 2011年春(3月～5月)の日別経過図



気象官署の日別観測値と日別平年値の地域平均（気温：実線と点線、降水量・日照時間：黒い円柱と白抜き円柱）

#### (5) 2011年春(3月～5月)の極値・順位更新

(3か月平均気温、3か月間降水量、3か月間日照時間の3位以内のみ)

※順位の更新はタイ記録も含んでいる。タイ記録は「=」で表す。

3位以内はなし

#### (6) 月統計値の極値更新

(月平均気温、月降水量、月間日照時間、降雪の深さ月合計値多い方、月最深積雪大きい方からの1位のみ)

※順位の更新はタイ記録も含んでいる。タイ記録は「=」で表す。

##### 月降水量多い方からの順位更新

月	地点名	降水量	平年比	これまでの最大	開始年	平年値
		mm	%	mm (西暦年)		mm
5	新庄	206.5	197	181.0 (1992)	1958	104.7

##### 降雪の深さ月合計値多い方からの順位更新

月	地点名	降雪の深さ月合計	これまでの最大	開始年	平年値
		cm	cm (西暦年)		cm
3	酒田	76	66 (1970)	1953	43

## (7) 2011年のさくらの開花・満開

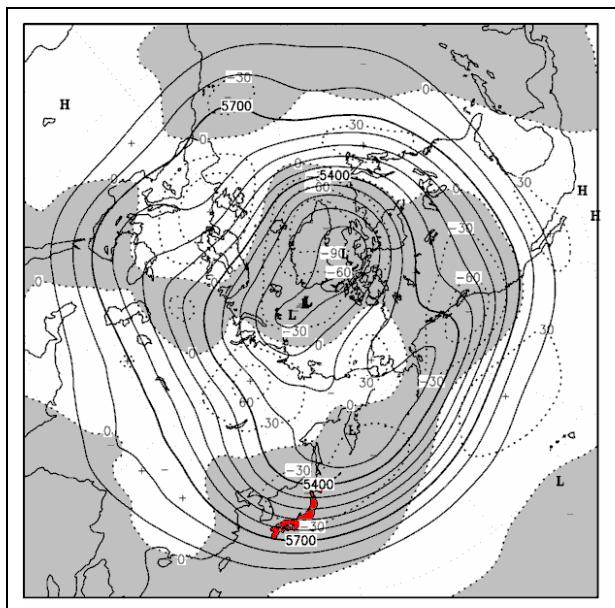
(最早・最晩の統計期間：1953年～2010年：平年値は1981年～2010年)

観測地点	開花日					満開日				
	今年 (2011)	平年値	昨年 (2010)	最早/起年	最晩/起年	今年 (2011)	平年値	昨年 (2010)	最早/起年	最晩/起年
青森	4.25	4.24	4.28	4.14/2002	5.11/1984	4.28	4.29	5.02	4.16/2002	5.18/1984
秋田	4.23	4.18	4.24	4.07/2002	4.30/1984	4.27	4.22	4.28	4.12/2002	5.08/1965
盛岡	4.20	4.21	4.25	4.11/2002	5.06/1984	4.29	4.25	5.02	4.16/2002	5.09/1984
山形	4.18	4.15	4.19	4.03/2002	4.29/1984	4.25	4.19	4.25	4.06/2002	5.04/1984
仙台	4.12	4.11	4.13	3.29/2002	4.28/1984	4.15	4.16	4.21	4.03/2002	5.03/1984
福島	4.12	4.09	4.09	3.29/2002	4.25/1984	4.15	4.13	4.13	4.02/2002	4.28/1984

開花：標本木に5～6輪の花が咲いた日

満開：標本木が、咲き揃ったときの約80%以上が咲いた状態となった日

## (8) 北半球の大気の流れ（3月～5月）



3月～5月の平均500hPa高度・平年偏差図  
実線は高度(m)、間隔60m。破線は偏差(m)、間隔30m。陰影部は負偏差域。

高緯度域ではグリーンランド付近を中心に負偏差、日本付近を含む中緯度帶では正偏差域と負偏差域が交互に並び、偏西風の蛇行が明瞭だった。極東付近では、バイカル湖の北を中心に顕著な正偏差となった一方、日本付近は広く負偏差域に覆われたため、日本付近に寒気が流れ込みやすかった。東北地方は寒気や気圧の谷の影響を受け、寡照、低温となつた。

### 平年値の更新について

- 平成23年5月18日から1981～2010年の観測値による新しい平年値を使用しています。
- 新平年値は旧平年値と比べ、気温は全国的に高くなっています。冬の降雪量は日本海側の多くの地点で減少しています。

詳しくは平成23年3月30日気象庁報道発表資料をご覧願います。